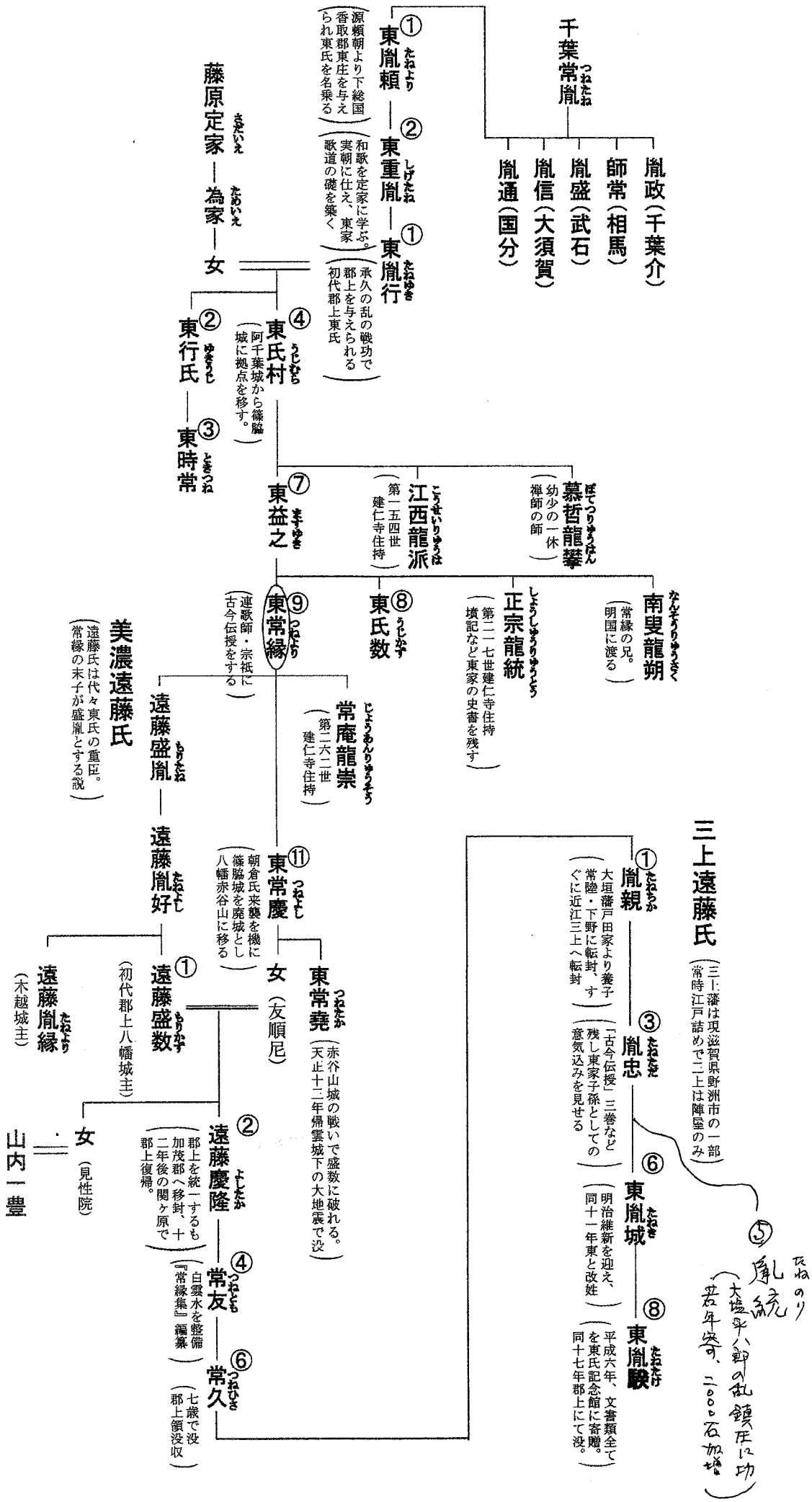
●東氏＆遠藤氏略系図


千葉常胤
胤政（千葉介）
師常（相馬）
胤盛（武石）
胤信（大須賀）
胤通（国分）
①東胤頼
（源頼朝より下総国香取郡東庄を与えられ東氏を名乗る）
②東重胤
（和歌を定家に学ぶ。実朝に仕え、東家歌道の礎を築く）
①東胤行
（承久の乱の戦功で郡上を与えられる初代郡上東氏）
藤原定家
為家
女
④東氏村
（阿千葉城から篠脇城に拠点を移す。）
②東行氏
③東時常
⑦東益之
慕哲龍攀
（幼少の一休禅師の師）
江西龍派
（第一五四世 建仁寺住持）
南叟龍朔
（常縁の兄。明国に渡る）
正宗龍統
（第二一七世建仁寺住持 墳記など東家の史書を残す）
⑧東氏数
⑨東常縁
（連歌師・宗祇に古今伝授をする）
常庵龍崇
（第二六二世 建仁寺住持）
美濃遠藤氏
（遠藤氏は代々東氏の重臣。常縁の末子が盛胤とする説）
遠藤盛胤
遠藤胤好
⑪東常慶
（朝倉氏来襲を機に篠脇城を廃城とし八幡赤谷山に移る）
①遠藤盛数
（初代郡上八幡城主）
遠藤胤縁
（木越城主）
女（友順尼）
東常堯
（赤谷山城の戦いで盛数に破れる。天正十二年帰雲城下の大地震で没）
女
（見性院）
山内一豊
②遠藤慶隆
（郡上を統一するも加茂郡へ移封、十二年後の関ヶ原で郡上復帰。）
④常友
（白雲水を整備『常縁集』編纂）
⑥常久
（七歳で没 郡上領没収）
三上遠藤氏
（三上藩は現滋賀県野洲市の一部 常時江戸詰めで二上は陣屋のみ）
①胤親
（大垣藩戸田家より養子 常陸・下野に転封、すぐに近江三上へ転封）
③胤忠
（「古今伝授」三巻など残し東家子孫としての意気込みを見せる）
⑥東胤城
（明治維新を迎え、同十一年東と改姓）
⑧東胤験
（平成六年、文書類全てを東氏記念館に寄贈。同十七年郡上にて没。）
⑤胤統
（大塩平八郎の乱鎮圧に功 若年寄、二〇〇石加増）